

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる可能性があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

ポスト口に、ホースなどで直接水をかけないでください。
内部の郵便物が濡れるおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【スチール製商品】

玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても、艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていないワックスを使ってお手入れすることをお勧めします。

※ワックスの一例：植物成分100%のワックス

※ワックスを使用する際は、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。
ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【電動商品】

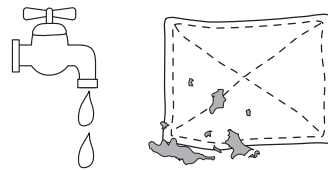
お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

お手入れ方法

■通常のお手入れ（ハンドル・引手含む）

1 表面のホコリ・砂を落とす

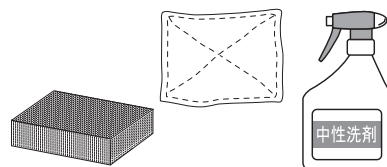
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

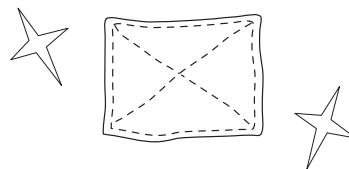
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

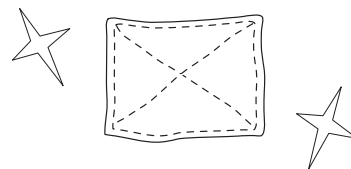
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■結露・雨水などがかった場合

1 水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



下枠・レール

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

■下枠・レールのお手入れ

1 砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

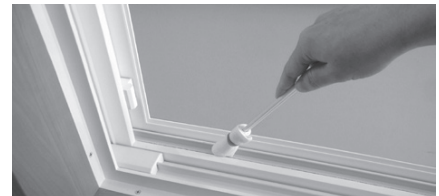


または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2 汚れをふき取る

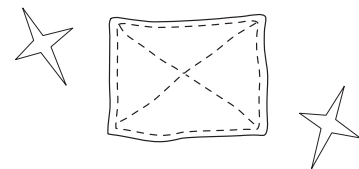
割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



■土間引戸の下枠レール間に水がたまった場合

1 水分をふき取る

下枠に水がたまった場合は、乾いた布で水分をふき取ります。



お願い

時間が経つと水は流れていきますが、気になる場合は、ふき取ってください。

ガラス

● ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について

ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。

これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。

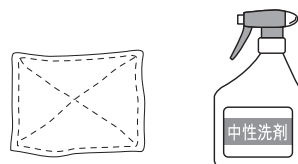
ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ ガラスのお手入れ

1

汚れをふき取る

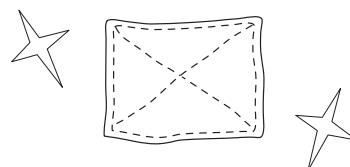
柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓

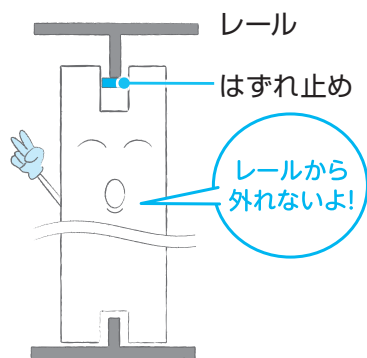
はずれ止めとは

はずれ止めは、強風などで窓が脱落、落下するのを防止するための部品です。
窓をはずす時以外は、必ずはずれ止めをセットしてください。

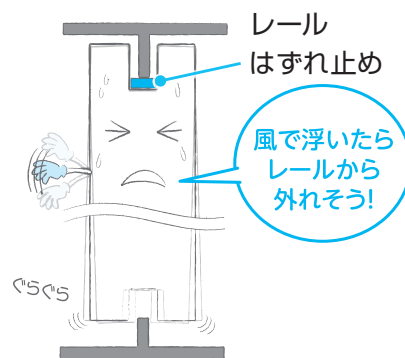
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

はずれ止めがセットされた状態



はずれ止めが解除された状態

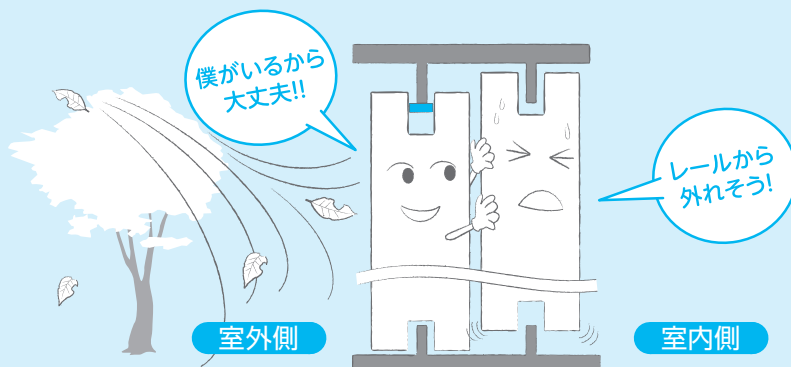
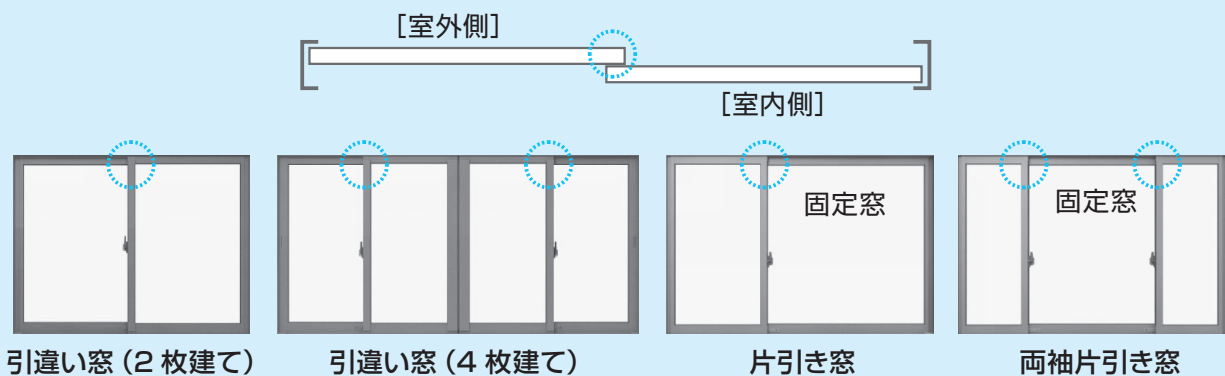


※はずれ止め部品の形状は商品によって多少異なります。

- ・「エピソードII」「エピソードII 防火窓」「防火窓Gシリーズ アルミ複層」
「マドリモ アルミ樹脂複合窓」「マドリモ マンション アルミ樹脂複合窓」
「マドリモ マンション 防火アルミ樹脂複合窓」
- ・「フレミングJ」

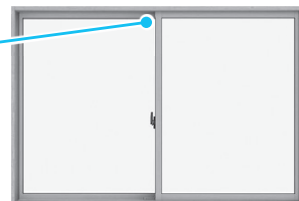
→P.194
→P.196

- はずれ止めは室外側の窓（室内側の窓と重なる部分）にあります。



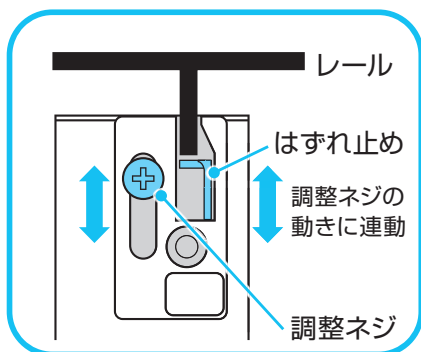
はずれ止めの解除方法

はずれ止め



「エピソードII」「エピソードII 防火窓」
「防火窓Gシリーズ アルミ複層」「マドリモ アルミ樹脂複合窓」
「マドリモ マンション アルミ樹脂複合窓」
「マドリモ マンション 防火アルミ樹脂複合窓」の場合

調整ネジの動きに連動して、はずれ止め（金属部品）が上下に動きます。



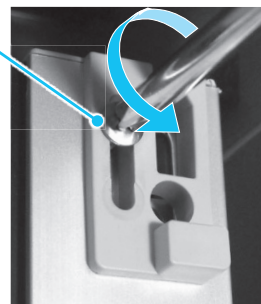
1 調整ネジをゆるめる

プラスドライバーで調整ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

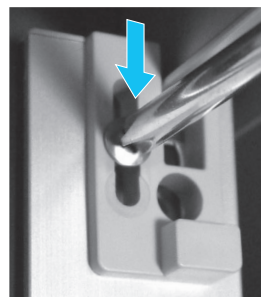
- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。

調整ネジ



2 調整ネジを下げる

調整ネジを一番下まで下げます。

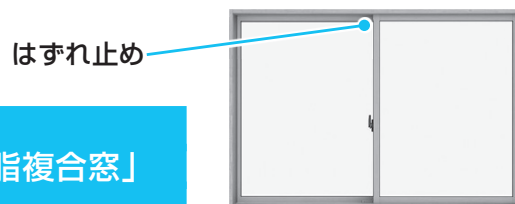


3 調整ネジをしめる

調整ネジを時計回りにまわしてしめます。

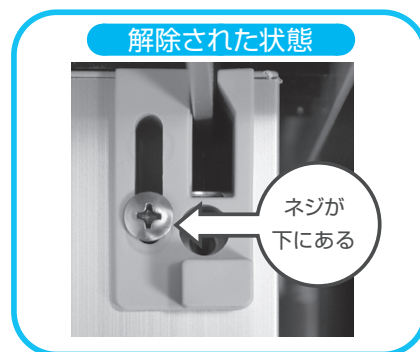
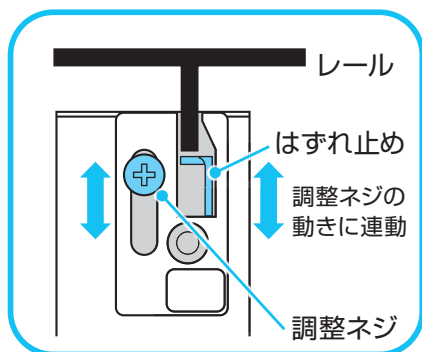


はずれ止めのセット方法



「エピソードⅡ」「エピソードⅡ 防火窓」
「防火窓Gシリーズ アルミ複層」「マドリモ アルミ樹脂複合窓」
「マドリモ マンション アルミ樹脂複合窓」
「マドリモ マンション 防火アルミ樹脂複合窓」の場合

調整ネジの動きに連動して、はずれ止め（金属部品）が上下に動きます。



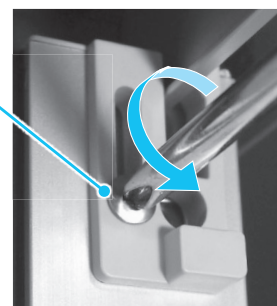
1 調整ネジをゆるめる

プラスドライバーで調整ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

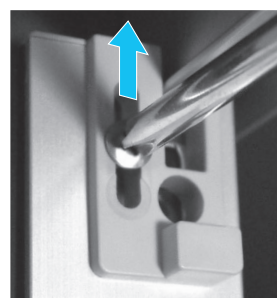
- ネジは絶対にはずさないでください。
窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。

調整ネジ



2 はずれ止めを上げる

調整ネジを一番上まで上げます。



3 調整ネジをしめ、窓の開閉を確認する

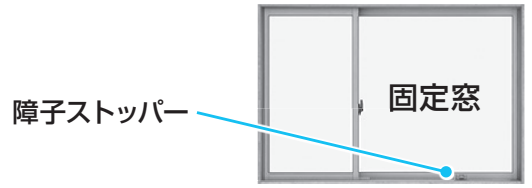
調整ネジを時計回りにまわしてしめ、窓の開閉に支障がないことを確認します。

- ※窓が動かしにくい場合は、手順1～3を繰り返し、はずれ止めを少しずつ下げてください。
- ※窓を持ち上げるようにして窓がレールからはずれないことを確認します。



窓の取りはずし方・取り付け方 (引違い窓・片引き窓)

引違い窓・片引き窓は、窓の取り付け、取りはずしを室内側で行います。



※写真は片引き窓

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

⚠注意

- ガラスの入った窓は重量があります。
窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。
窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

第4章

エピソードII「エピソードII 防火窓」「防火窓Gシリーズ アルミ複層」「マドリモ アルミ樹脂複合窓」「マドリモ マンション アルミ樹脂複合窓」「マドリモ マンション 防火アルミ樹脂複合窓」の場合

窓

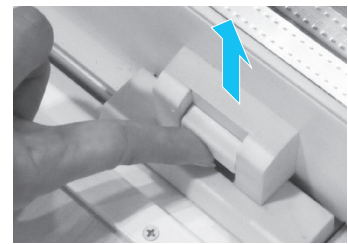
■窓の取りはずし方

1 網戸をはずす

網戸をはずします。 →P.247「網戸の取りはずし方」

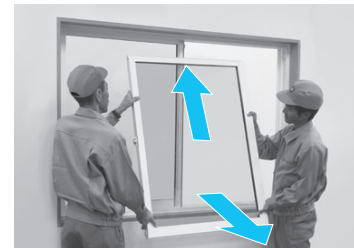
2 障子ストッパーを解除する (片引き窓・両袖片引き窓)

片引き窓の場合は、障子ストッパーを上げて解除します。



3 窓をはずす

窓を持ち上げ、窓の下部を手前に引いて下レールからはずします。



室内側窓

網戸

ドア引戸

お手入れ

4

はずれ止めを解除する

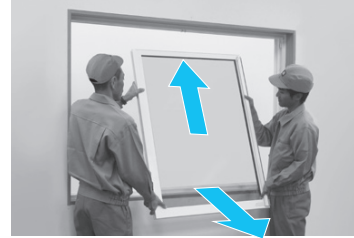
窓のはずれ止めを解除します。

→P.194「はずれ止めの解除方法」

5

窓をはずす

窓を持ち上げ、窓の下部を手前に引いて下のレールからはずします。



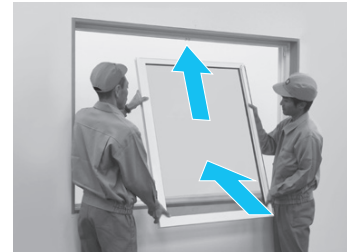
「エピソードII」「エピソードII 防火窓」「防火窓Gシリーズ アルミ複層」
「マドリモ アルミ樹脂複合窓」、「マドリモ マンション アルミ樹脂複合窓」
「マドリモ マンション 防火アルミ樹脂複合窓」の場合

■窓の取り付け方

室外側窓

1 窓をはめ込む

窓の上部を上側のレールにはめ、窓を持ち上げて下のレールにはめ込みます。



2 窓のはずれ止めをセットする

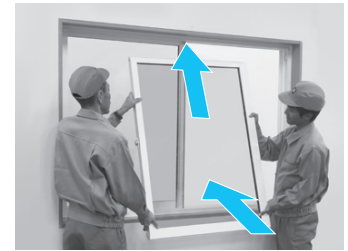
窓のはずれ止めをセットし、窓がはずれないことを確認します。

→P.195「はずれ止めのセット方法」

室内側窓

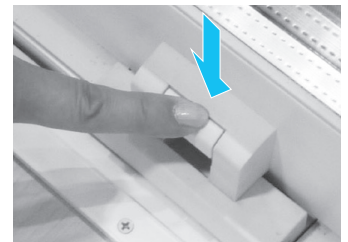
3 窓をはめ込む

窓の上部を上側のレールにはめ、窓を持ち上げて下のレールにはめ込みます。



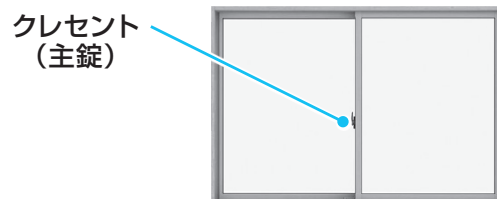
4 障子ストッパーをセットする (片引き窓)

片引き窓の場合は、障子ストッパーを下げてもセットします。



クレセントの調整方法

クレセントをロックしても窓がガタついたり、ロックしにくくなった時には、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント本体の位置を上下に調整する方法を説明します。

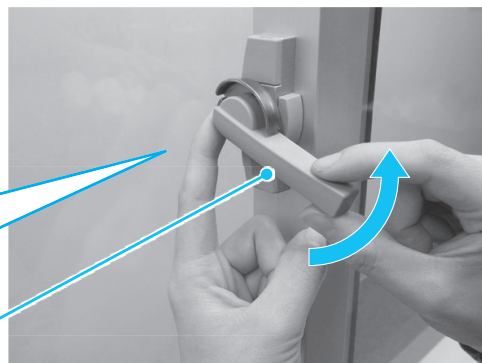
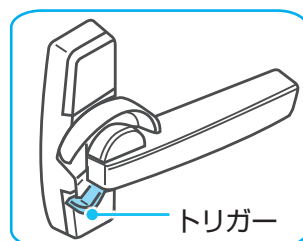


ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

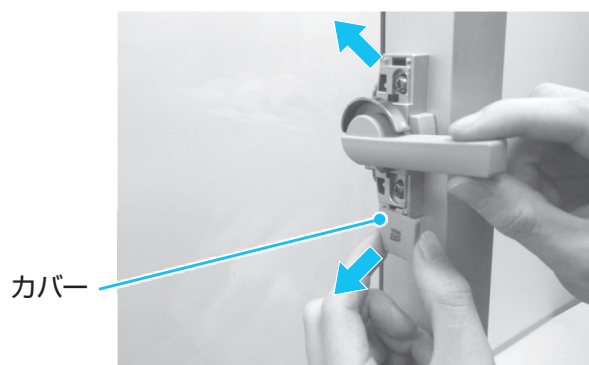
1 クレセントのノブをまわす

トリガーを指で押さえながら、クレセントのノブを中央位置までまわします。



2 カバーをはずす

カバーをはずし、ネジが見える状態にします。

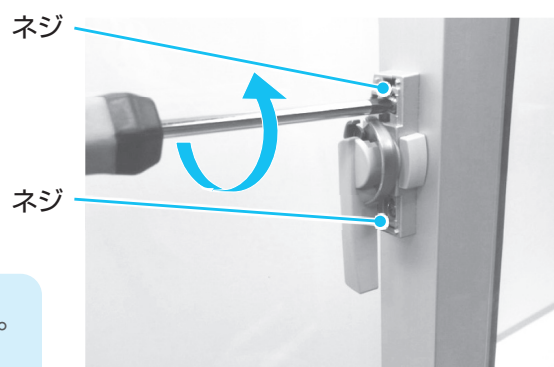


3 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

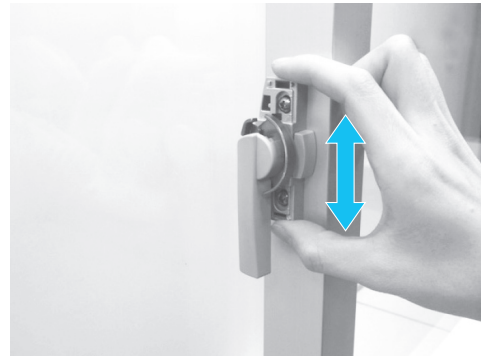
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



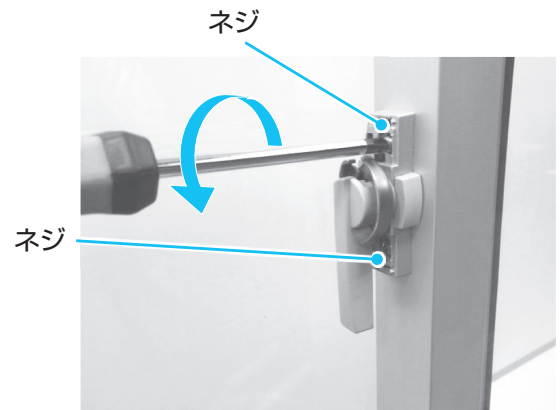
4 クレセントの位置を調整する

クレセントを上下に動かして位置を調整します。

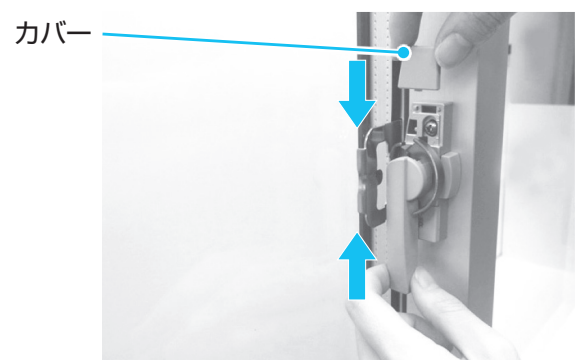


5 ネジをしめる

上下のネジを時計回りにまわしてしめます。

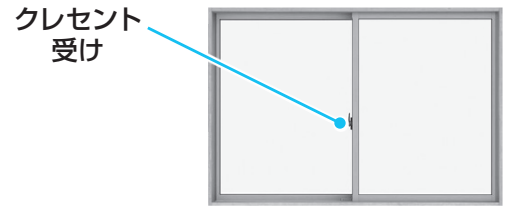


6 カバーを取り付ける



クレセント受けの調整方法

クレセントをロックしても窓がガタついたり、ロックしにくくなった時には、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント受けの位置を左右に調整する方法を説明します。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

ネジ



2 クレセント受けの位置を調整する

クレセント受けを左右に動かして位置を調整します。



3 ネジをしめる

上下のネジを時計回りにまわしてしめます。

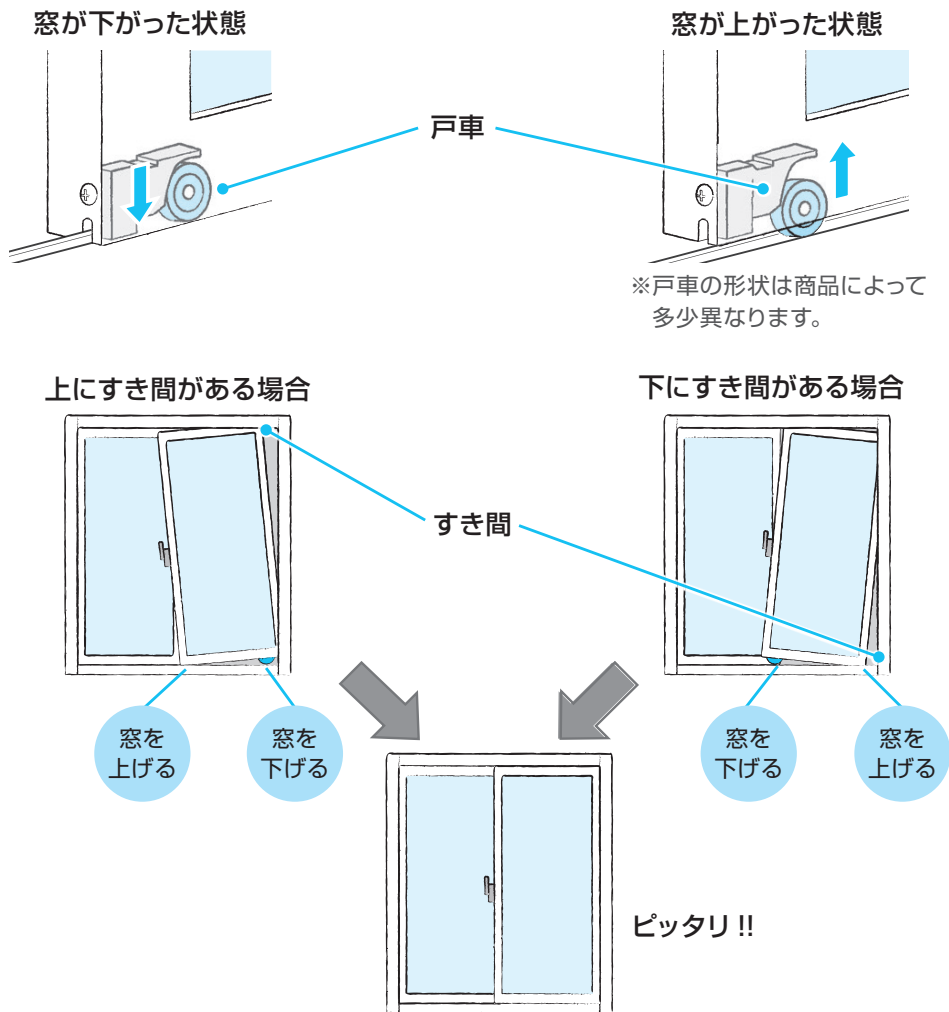


戸車とは

各窓の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整すると窓の高さが変わり、傾きを調整することができます。窓がピッタリ閉まらないときは、戸車を調整してください。

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



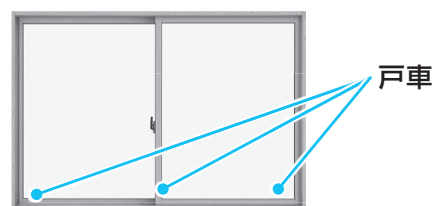
戸車は、各窓の下両端にあります。



戸車の調整方法

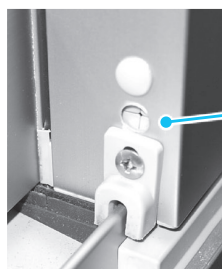
戸車の調整ネジの位置や形状などは、商品によって異なる場合があります。

ここでは、窓タイプを例に説明します。



エピソードⅡ「エピソードⅡ 防火窓」「防火窓Gシリーズ アルミ複層」
「マドリモ アルミ樹脂複合窓」「マドリモ マンション アルミ樹脂複合窓」
「マドリモ マンション 防火アルミ樹脂複合窓」の場合

キャップなしタイプ



戸車調整
ネジ穴

キャップありタイプ



戸車調整ネジ用
穴ふさぎキャップ



※戸車調整ネジ穴には、穴ふさぎキャップなしタイプとありタイプがあります。
穴ふさぎキャップありタイプの場合は、穴ふさぎキャップをはずしてから調整してください。

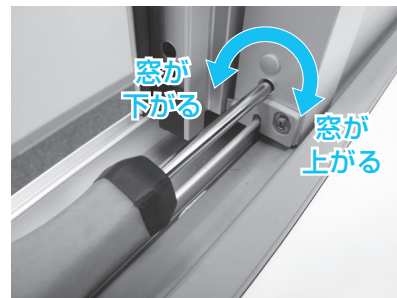
1 戸車を調整する

プラスドライバーをネジ穴に差し込み、調整ネジをまわして戸車を調整します。

※戸車を調整すると窓の高さが変わります。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



しゅうどうへん 下部摺動片とは

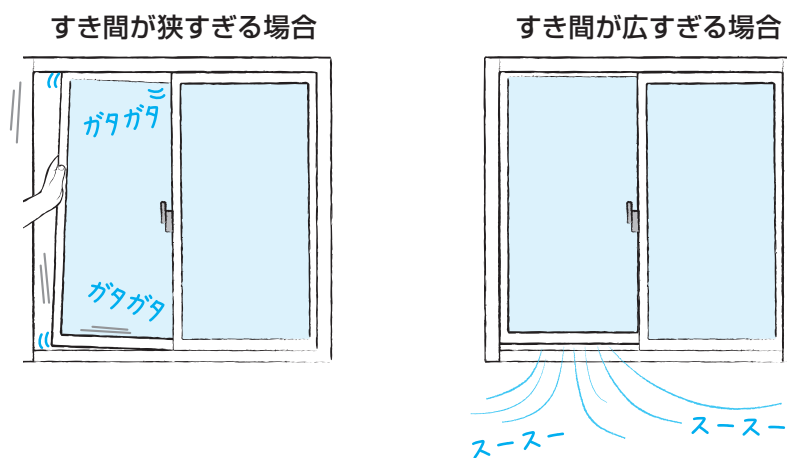
窓の下枠とレール上にある風止板とのすき間を調整する部品です。

すき間が狭すぎると窓が動かしにくくなり、すき間が広すぎると、室外からすき間風や雨が入ります。

商品によっては、ゴム製のすき間風防止機能を兼ね備えているタイプもあります。

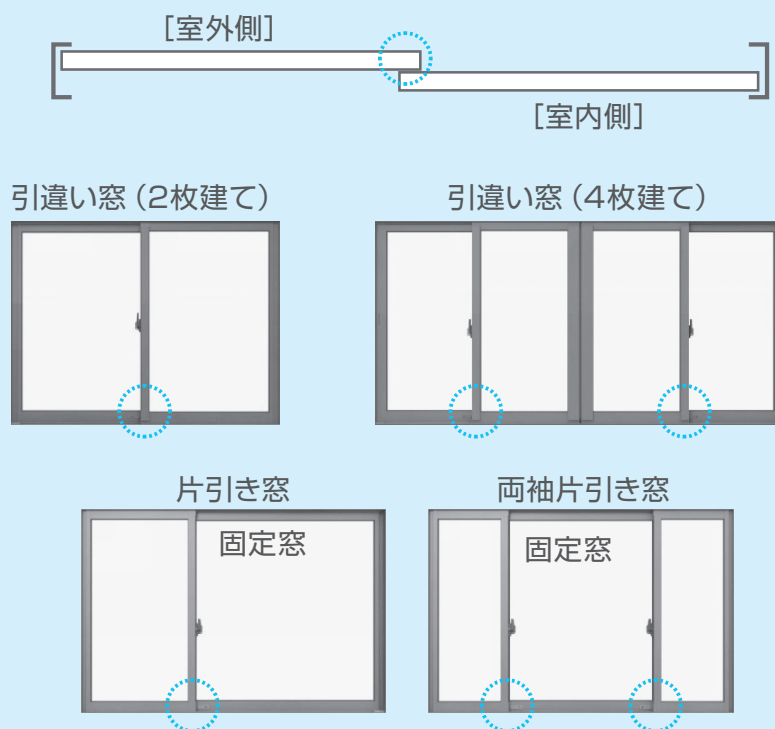
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



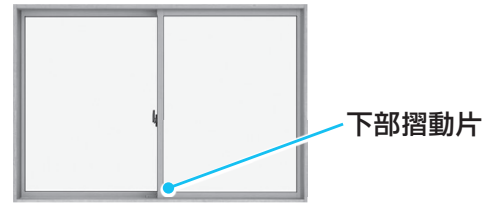
※下部摺動片の形状は商品によって多少異なります。

下部摺動片の調整ネジは、室外側の窓枠（室内側の窓と重なる部分）にあります。



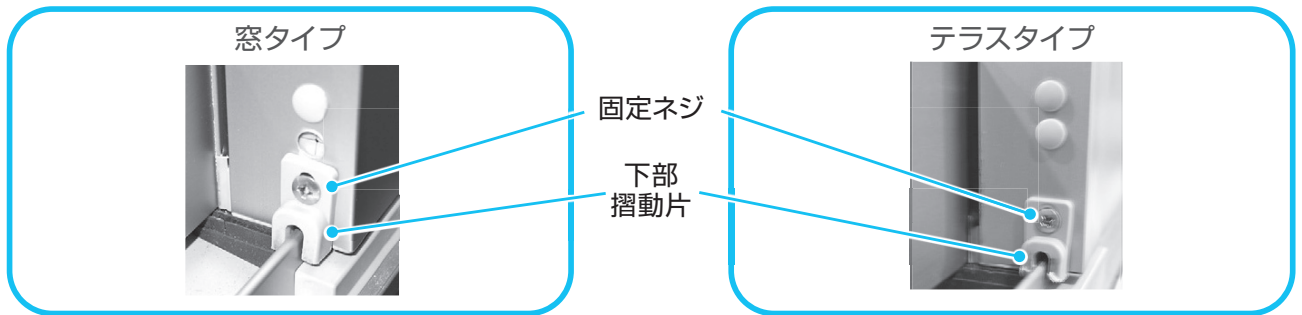
しゅうどうへん 下部摺動片の調整方法

下部摺動片の形状や固定ネジの位置などは商品によって異なる場合があります。ここでは、窓タイプを例に説明します。



「エピソードII」「エピソードII 防火窓」「防火窓Gシリーズ アルミ複層」「マドリモ アルミ樹脂複合窓」「マドリモ マンション アルミ樹脂複合窓」「マドリモ マンション 防火アルミ樹脂複合窓」の場合

※「防火窓Gシリーズ アルミ複層」以外は室内側の窓の調整はできません。

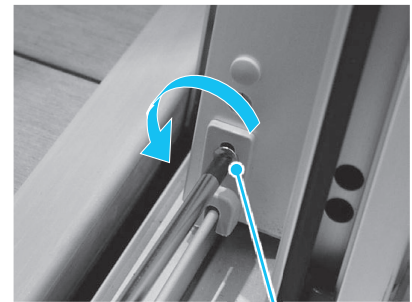


1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで固定ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

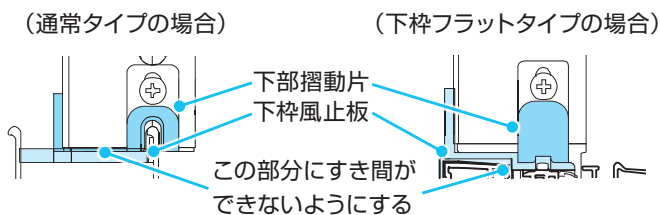
- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



固定ネジ

2 下部摺動片の位置を調整する

レール上の風止板とのすき間がなくなるように、下部摺動片の位置を調整します。



3

固定ネジをしめる

固定ネジを時計回りにまわしてしめます。

